

9 月度 例会 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL; 岸上 薫 町田 修 金子 清 津田 廣一 部外者1人
個人		報告日	10/09		
山 域	北関東	山行日	13年 09月 22日(日)		
山 名	日光白根山				
山行目的	9月例会(オプション)・関東の山を楽しむ		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
集会:12
山行:1
リーダー
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



2.5万分の1地図: 男体山

9/22 晴れ
05:30 起床
07:20 菅沼キャンプ場発
08:10 樹林帯一本
08:50 弥陀ヶ池一本
09:45 日光白根山山頂
10:20 日光白根山山頂発
11:30 樹林帯一本
12:30 菅沼キャンプ場着

13:00~14:00 湯の家
21:20 刈谷着



山頂の賑わい



菅沼、丸沼を見ながら



弥陀ヶ池より日光白根山

山行報告 5時半に起床、顔を洗って、昨日の大宴会の後片付け。朝食も食べ、バンガローから荷物をまとめて、車へ運ぶ。登山準備をしては、7時20分に菅沼キャンプ場を出発。今日は、昨日の山ガールのこずえ嬢も加わり5人パーティーだ。今日もポレポレペースでスタート。駐車場を過ぎても、しばらくは平坦な樹林帯の中の道を進み、会話も弾む。身体が山道に慣れ始めた頃、急傾斜の登山道に突入。つづら折りの道を、ゆっくりゆっくりと確実に一步づつ、登っていく。樹林帯の中の広場の様な所で一本。昨日と違い、登り道と並行移動が交互にあって歩きながら休める。皆、快調なペースだ! 2ピッチ目、30分位で弥陀ヶ池に到着。池の向こうに目指す日光白根山が、その堂々たる姿を見せている。2年前に来た時は、ガスって何も見えなかったのに、今日は最高だ。皆、その景色をカメラに収めている。弥陀ヶ池で一息ついて、いよいよ、ガレ場、岩場の登りに入る。ジグザグ道を、石を落とさない様に注意しながら、慎重に、確実に登っていく。今までと違い、息も少し、上がってくる。岩場になり、ペンキ印を目印に、道を外さぬ様により慎重に、足場を確保して攀じ登る。我慢比べを約1時間。「やった~、日光白根の山頂だ!」握手を交わし、写真を撮る。360度のパノラマを眼に焼き付けて、人の多い頂上を避けて近くのピークへ移動、昼食を食べる。天気も良く、景色も良く、最高だ。眼下に弥陀ヶ池や更に菅沼も見える。至福の一時を過ごしては、頂上を後にする。手掛かり、足がかりをしっかりと見極めて岩場を慎重に降りる。滑りそうなガレ場も落石に注意して一気に弥陀ヶ池まで降りてきた。後は、樹林帯の中を降るだけ

だ。約1時間、樹林帯の中の広場で、再び一本。ここまで来れば...と、ゆっくりと休憩、色々な話に盛り上がる。もう1ピッチと、出発。12時半に無事下山。早速に温泉へ、車を走らせる。汗を流して、サッパリした所で、それぞれの帰路につく。途中、こずえ嬢、無事帰宅のメールを受信し、我々も刈谷方面へ急ぐ。夜9時過ぎに到着し、楽しき山行が終了した。



晴天の日光白根山

確認(リーダー)
岸上
13.10.06
作成(報告者)
津田
13.10.04

リーダー所見
オプションの企画だったため、午前中に登れる手ごろな山として、日光白根山を選定、天気が良かったこともあり、綺麗な景色を楽しめました、我ながらナイスチョイスかな。山自体も、二日目としては、適度な行動時間だったので、全員しっかりとした足取りでした。温泉に入った後の、名古屋までの一人運転が一番きつかったです。